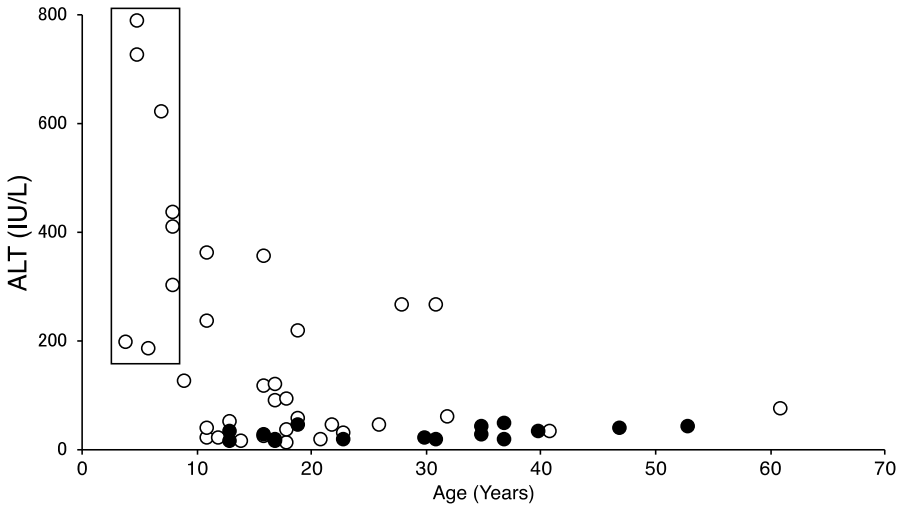
肝炎の日（7 月 28 日）にはウイルソン病も診断しましょう

2010 年、WHO は世界から肝炎による健康障害、偏見による人権障害を撲滅する啓蒙運動をはじめた。世界的にはＢ型とＣ型肝炎ウイルス関連疾患が重要です。しかし、我が国では、①成人の多くが職場健診か住民健診で HB s 抗原と HCV 抗体を含む血液検査を受ける、②2 つのウイルス感染症の拡大は行政の責任であるとして、手厚い支援政策が稼働中、③感染が判明すれば、専門医に相談し、治療が必要であれば疾患の進行を止める治療法を無償で受けることができる、④血液を介して感染した急性肝炎は輸血行政の改善によりほぼ無くなった、など、諸外国とは事情が異なる。

問題は、ウイルソン病（WD）など、子供の慢性肝炎です。成人と異なり、子供は血液検査を受ける機会が少ないからです。主に潜性遺伝性疾患である WD は過剰に摂取された銅の胆汁排泄が止まり、肝細胞が障害されて、慢性肝炎から肝硬変に進行します。下図のように患者さんの血清 ALT（代表的な肝機能検査）は 4 歳から 8 歳までの間、150　IU/L 以上の高い値を示します [1)]。この高 ALT 血症は酢酸亜鉛の内服１ヶ月で正常化します [2)]。これは家庭医にも実施できる古典型 WD と重症肝型 WD に対応した治療による新診断法です。

現行の小学校新入生の健康診断、身体測定と医師の聴打診、だけでは B 型・C 型肝炎、WD などの慢性肝炎は診断できない。慢性肝炎は無症状ですが、採血検査をすれば、簡単に診断の糸口が採れます。7 月 28 日の肝炎の日には、小学 1 年生に（一生に一度の）血液検査を勧めて、肝炎ウイルスの感染のほか、早期の WD を診断しましょう。

文献 1.Hayashi H, et al. J Clin Transl Hepatol. 2019;7:293-6.
2.Eda K, et al. J Gastroenterol Hepatol 2018;33:264-9.


ALT (IU/L)
800
600
400
200
0
0
10
20
30
40
50
60
70
Age (Years)